

平成 29 年度第 1 回南魚沼市総合教育会議 会議録

日 時 平成 30 年 1 月 30 日 (火) 13 時 15 分～14 時 45 分

場 所 南魚沼市役所 本庁舎 大会議室

出席者 南魚沼市長
林 茂男
教育委員会
教育長
南雲 権治
教育委員
西野 仁、角谷 正雄、今井 晶子、川島 亜紀子

(事務局出席者)

市長部局

総務部長 今井 久夫、総務部部参事 清水 明、
企画政策課長 片桐 克巳、企画政策課行革主幹 中島 健

教育委員会事務局

教育部長 平賀 重朗、学校教育課長 大嶋 雅子、
社会教育課長 佐藤 弘、子ども・若者育成支援センター長 阿部 正敏、
管理指導主事 田中 和徳、指導主事 森田 隆行、
学校教育課学校庶務主幹 佐藤 丈夫、学校教育課施設主幹 遁所 優、
社会教育課生涯主幹 高橋 利彦、社会教育課生涯学習班主任 上村 清

協議事項 (1)「学びの郷南魚沼」実施計画について
(2)今後の就学支援について
(3)道徳教育の抜本的な改善・充実事業について
(4)八海中学校開校に向けて
(5)その他

事務局

本日は大変お忙しいところ、ご出席をいただきまして大変ありがとうございます。
ございます。

それではただいまから、平成29年度第1回南魚沼市総合教育会議を開催いたします。初めに市長から挨拶を申し上げます。

市長

皆さん、あらためまして本日は大変お疲れさまです。何度も聞いているとは思いますが、新年初めてということであけましておめでとうございます。今年もこの総合教育会議が開催されるわけですが、昨年度は就任間もない時の開催でありました。1年ずっとやってみまして、まだまだ至らない点ばかりではありますが、無我夢中でやらせていただいた1年間、皆様からのご協力によりまして、教育も現場も含めまして本当に幅が広いんだと日々実感をしております。学校教育があり、社会教育がありと皆様には難儀なところを受け持っていており心から感謝しております。早いもので、もうすぐ卒業式もあり、それぞれまた教育委員の皆さまにはご出席をいただき、生徒児童にお声かけをいただくという機会になります。大変お忙しい中ではありますが、ご協力をいただければと思っております。

現在、ちょうど予算編成の時期でありまして、教育現場からは、「あれもやりたい、これもやりたい」といったところが多くあり、なかなか叶わないところもあります。しかし、当初はこれで始めさせていただきということで、一定の予算を編成することが出来ました。足りないところもあるかもしれませんが、この辺につきましては、こういう方針で当初予算はこうなったんだという話も出ると思います。皆さんから忌憚のない意見を聞かせていただいて、一生懸命取り組んでいきたいと思いません。

急に始まったようになりましたが、塩沢セミナーハウスに他所の子供たちを受け入れています。オリンピックイヤーということもありまして、スキーに対する機運も高まっているわけではありますが、これらは私どもの子どもたちにとっても、ここが雪国であるということはプラスに見るのかマイナスに見るのかということだと思えます。そういう意味からも教育的な意味もありながら、今新しい方向に向かっているところもありまして、皆様からもご理解をお願いしたいと思っております。

学校の再編ですが、いよいよ新年度八海中学校がスタートします。緊張感を強いられる中ではありますがよろしく願います。

社会教育では学びの郷プラン、これについても先ほど予算の方でも触れました。すでにお聞き及びかもしれませんが予算が計上されていません。内容、そして実際のハード、ソフト面をどうするかということがまだまだちょっと見えない部分もあります。当然一番必要な部分でもありますので、これは予算措置を必ずさせていただきますが、その前に皆さんから、今日の議題でもありますので、慎重に審議・検討をしていただきまして、より良い形でやっていただけるようにしたいと思います。

本日は慎重審議のうえ、南魚沼市の教育環境の向上のために良い会議になればよいと思っておりますのでよろしく願います。

今日は誠にありがとうございます。

事務局	<p>本日の出席者について、別添「出席者名簿」のとおり。</p> <p>総合教育会議の役割等について、別添「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）」により説明。</p>
事務局	<p>それでは、次第に沿いまして会議を始めさせていただきます。以降の進行につきまして林市長よりお願いいたします。</p>
市長	<p>さっそく協議に入らせていただきます。協議事項（１）「学びの郷南魚沼」実施計画について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>協議事項（１）については、西野教育委員の方からお話しさせていただきます。よろしくお願いします。</p>
西野委員	<p>資料１-１、１-２、１-３、１-４により、学びの郷南魚沼プランの実施計画について、学びの郷南魚沼プランのグランドデザインの再確認、生涯学習センターのイメージ、トライアル企画の説明。</p>
市長	<p>ありがとうございました。今の説明に対して何か質問がありますか。皆さん、参加されているのでお分かりなのかと思いますが。</p>
教育長	<p>教育委員会のなかでは随時報告しながら進めていますが、今日は市長にもっともっと説明したいと。</p>
市長	<p>去年は、もっとぼんやりしていたわけなので、皆さんからよく検討していただいています。やり方としてまだもう少し詰めていく必要があるのではないかと思います。この学びの郷のプランは大変素晴らしいと思うのですが、いろんなプログラムについて、１年間かけてこれだけではなくてほかにいろいろ示していけるという段階になるのでしょうか。</p>
西野委員	<p>急げば、早くやれと言われればやれるとは思っていますが、この種ものはプロセスが非常に大事で、参加したみんなで作ったということが醸成されるまでは、やらされたとか、負の思いが出てしまう恐れがありますので、個々のスタートに関しましては特に時間をかけたいということでございます。いっぱいあったんです、それぞれのプランでひとつずつくらい何か出したらどうかという意見もありましたが、それではなくて、とにかくどういう宝物があるか探そうと、そして整理したうえでそれをどう使うかを考えよう。急がば回れ的な発想でやっ払いこうと。</p> <p>それともう一つはやはり予算のことも大分気にしながらしてやっておりますので、すこし遅いんじゃないか、ゆっくりじゃないかとお考えになられたんだと思います。</p>
市長	<p>この時点では、おそらく予算はそうかからないですよ。ハードの部分も会議室があれば出来る内容に思います。その辺のところをこれから</p>

よく考えていただいてももらいたいと思っています。私の立場から教育委員の皆さんにお願いしたいのは、合併の時に旧三町が分館活動をしていると思うんです。六日町地区はありますが、塩沢地区はありませんでしたが。この辺のところはまだまだ過渡期的なところがありまして、学びの郷もこの辺を抜きに考えられないと思っていて、決して公民館活動と一緒になれという意味じゃありませんが、皆さんからは高い見地からどういうふうに進めていくべきなのかを考えていただきたい、そこを非常に期待しているんです。これは私だけじゃないと思いますので、ぜひ様々なことを考えていただきたいです。中身は皆さんに大変頑張っていたんで非常に良いものだと思います。

西野委員

補足と言いますか、これをどう発展させていくかというときに、会議を開きながらいろいろ詰めていく部分がたくさんあるんですが、例えばスポーツ、レクリエーション、体育というような部分、生涯学習のこの学びの郷、それがバラバラだという発想ではないんですよ。学校には体育という授業がありますし、道徳という授業もあります。ほかにも家庭科があったり音楽があったりいろいろあるわけですので、一つはこの学びの郷南魚沼、つまり南魚沼の教育環境を高めて、市民たちの教育力も高めて、他所よりも教育力の高い南魚沼にしていくことが生き残りにも絶対に繋がってくる。そこを抜きにはなかなか展望が開けないのではないかという意味でいうと、教育立市という言葉も使うことが出来るのではないかと。それからすると今の段階では、この学びの郷南魚沼は教育計画のなかの社会教育という一分野ではあるけれども、当然検討していくうえで、次期の教育計画のなかではもうすこし広めて、学校も公民館も地域の様々な教育活動も含めたうえで総合的な教育計画を作っていかなければいけません。そうするような方向も少し見据えた、もちろん今はそれが出来上がっているわけではありません。そういう展開の仕方を考えながらということでもあります。

市長

ほかに皆さんから何かありますか。

教育長

この一年間どういうことをやってきたかという、既存の社会教育の講座のほかに市民自らすでに勉強会をやっておりますので、それを学びの郷南魚沼プランというロゴをつけさせていただいて、統一したルールというものをつくっております。例えば来年からは総合支援学校でやっております特別支援教育の講座とか市民病院でやっている先生方の健康講座とか国際大学・国際情報高校でしている講座とか、そうした学びの場にもロゴをつけてやっていきたいと。今年からだいぶ多くの個所で統一した雰囲気づくりをしていますので今後も続けていきたいと思います。

角谷委員

教育委員会の方でもかなり議論をさせていただきましたが、最終的にはコーディネーターの方が育っていかないと、なかなか回っていかないと。まずはそうした方を育てていく必要があります、そのことによって永続的に事業が進んでいくので、是非ともお願いしたいと思っています。

市長 今後、このプランを進めながら育てていくというイメージですか。

西野委員 そうです。

市長 他にはありますか。無いようでありますので、続いて（２）今後の就学支援について、を事務局の方から説明をお願いします。

森田指導主事 資料２－１、２－２、２－３、３－４、２－５により、現在の就学支援の方法の説明。

UD支援事業の活用により、保護者の負担が大きく減ったということが一番の改善事項。精神保健福祉士の配置も他の市町村にはない事項。

市長 ありがとうございます。それでは審議に入りたいと思います。皆さん何かありますでしょうか。

川島委員 この結果で保護者の気持ちの負担の軽減がされたのはいい方向だと思いますので、この先もより良い連携を取りながら進めていただきたいと思います。

市長 特別支援教育は南魚沼市の誇りになってきているところでもありますし、皆さん共通認識されている部分でありますよね。

角谷委員 資料２－２にあります特別支援教育基礎研修というのがありますが、これは小中学校だけではなく、幼稚園・保育園の先生方も参加させていただいて、非常にグリーゾーンと言いますか、そういった子どもたちをどう見て行ったらいいのかという基礎知識を得るために非常に役に立っています。講師陣も非常に立派な先生方にお越しいただいており、ただ中央に出ないと聞けない先生も多いものですから、ずっと続けていってレベルを上げていく、非常に役に立つと思いますので継続を是非ともお願いしたいと思います。

教育長 先ほど申し上げたように、学びの郷南魚沼というロゴをここに付けて市内に配ろうかと考えております。

市長 ほかに何かありますか。無いようですので次の協議に入ります。続いて（３）道徳教育の抜本的な改善・充実事業について事務局から説明をお願いします。

田中管理指導主事 資料３－１、３－２により説明。道徳の教科化に向けて、全国的にも珍しい中学校区全体での取り組みを紹介。

市長 大変ありがとうございました。皆さんから質疑がありましたらお願いします。

私の方から、お聞きしたいのですが、他所はどのような感じなのでし

ようか。

田中管理指導主事

研究推進校ということで柏崎翔洋中等学校とか新発田市の七葉小学校が今年しているのですが、中学校区全体でしているというのは全国的にも珍しいです。

当市の指導主事が講演するというと、他市町でも遠くからかなり申し込みが来ます。南魚沼市ですというと長岡市や上越市などからも申し込みがあります。そういう意味でも結構注目されているという状況です。

教育長

わかりやすく説明すると、来年度の道徳の教科化に向けて専門の教師を採用したというのは南魚沼市だけだということです。

それから、国の事業があるという、こうした過渡期において、手を上げてこの事業を獲得して行っているのは南魚沼市だけであるということで、自慢みたいですが事実はそうであります。

そういうことからすると他の自治体はこれにあまり積極的ではない、だからこそ南魚沼市の動きに最近注目をされているというところでもあります。

市長

それでさっき聞いたんですよね。他所はどうなっているんだと。

田中管理指導主事

道徳の指導主事を採用したというのは、全国的にも過去あるのかとどうかというところです。

西野委員

一つ教えていただきたいのは、ここに今出てきている資料 3-2 についてですが、言ってみれば教えることのテクニックということですよ、どういうふうに教えていくのかということを一生涯懸命なさっているわけですが、道徳で非常に重要だと思ふことは、資料のなかにもある「南魚沼市で大事にしていること」として「考え、議論する道徳」で、何を考えさせるか、何に気付かせるのかと、ここが一番のポイントになるはずだと思うんです。方法論ではなくて、この辺の論議は進んでいるんですか。

田中管理指導主事

それはもちろんのことなんです。先ほど申しましたように若い先生が多いというなかで、テクニック的なものも大事にしながら、大事な授業のコンセプトというか、西野委員が言われる「考え、議論する道徳」として、導入で教材への関心や問いを持たせる、あるいは課題づくり、そこで写真などを使うとか、意見が分かれるような状態を作りながら、どのように子どもたちに疑問を持たせるか、課題を持たせるか、意欲を持たせるか、そういうところもしっかりと耕しながら、子どもたちが自分たちが参加意識を高めるといった形で進めています。

市長

ほかにありますか。無いようですので次に進めます。(4) 八海中学校の開校について事務局より説明をお願いします。

田中管理指導主事

資料の 4-1、4-2 により説明。教育目標や学習指導に関すること、

	部活動のユニフォーム、校歌、応援歌などの最終調整段階の状況を説明。
市長	大変ありがとうございました。皆さん何かありますでしょうか。
教育長	三校の応援歌というのは、三校の校歌を活用するんですか、応援歌を活用するんですか。
田中管理指導主事	応援歌です。各校3つずつくらいあるようですが、それらを活かすということでもあります。歌詞が違うけど、節は一緒だということもありますので。
市長	先ほど説明をいただいた中で、靴を変えたり、ユニフォームを作ったりと保護者には負担になるわけですが、その辺の懸案はありますか。
田中管理指導主事	確かに制服など、新1年生は5～6万ほどかかるわけなんですけど、今のところ学校にも我々のところにも大きな心配の声は届いていないんですけど、学校では特に在校生についてはできるだけ新しいものは買わないで、今のものを使っていただくという方向で考えていて、保護者負担が少なくなるように配慮はしております。
市長	配慮されているわけですね。少し気になったもので。ほかに何かありますか。
西野委員	少しわからないのは、教育目標があって重点目標があるわけですが、重点目標というのは何の重点目標なんですか。教育目標というのは10年20年と半永久的に変わらないものだとして認識しているんですけど、重点目標というのはその時々時代の变化や子どもたちの実態の変化、教育的な要請の変化などいろいろなものを勘案して、変な話、毎年あるいは数年前単位で変わっていくというものですか。
市長	ほかの学校もそうなんですか。
田中管理指導主事	そうです。
西野委員	私が解らないのは、重点目標というのはつまりどういう生徒を育てていくのか、短期的にですね。というものが書かれている気がするんですけど、もう一つ大変重要なポイントが、ここに書くべきかわからないんですけど、学校経営の基本的な考え方というのが必要ではないかという気がするんです。例えば、安心安全で命にかかわることはしないんだとか、いじめは絶対ダメなんだとか学校経営の基本的なものはどこかに書かれてくるんですよ。
田中管理指導主事	これは、今最終的に練っているところで、教育委員会でお見せしたものはちょっといろいろあったんで、今もう一回練り直しているところがあります。

西野委員

わかりました。

市長

ほかにありますか。

無いようですので、この議題の審議を終わります。

用意された議題は終わりましたようなので、(5)その他に入りたいと思います。委員の皆さんから何かありますでしょうか。

ないようであれば、私の方から一点申し上げたいことがあります。

生涯学習センターの位置、これは今までは空いているのが前提ということで、旧図書館を使ってということになっていたと思います。昨年の会議でそういう話が出て、その時は違和感がなかったというか空いているんだからなあと思っていました。

合併後、教育委員会は市民会館に社会教育課と今年度新設した生涯スポーツ課と2つあります。二日町には子ども・若者育成支援センター、そして、大和庁舎に教育委員会の本体と言いますか、学校教育課があり、教育長、教育部長もいるという状況であります。

しかし、私としては、1年間やってきた中で、この辺のところに正直非常に違和感が生じております。また、職員からも私宛に、教育委員会の各課が分散していることを心配している意見が多数寄せられてきています。

これは、当然だと思います。マンパワーが失われている昨今の状況は、市民が思っているよりも、ものすごく深刻で大変な問題を抱えています。これは教育委員会だけではありませんが、合併から10年以上経過して、様々なしがらみを超えて、真剣に協議をしていかなければいけない時期ではないかと思ったところでもあります。

マンパワーを1点に集中して、そして顔が見えて「フェイストゥフェイス」でいろんなことが話し合わなければいけません。そうした考えから、大和庁舎に置かれている教育委員会本体を中央の市民会館内に移動させ、一か所にすべきなんではないかと。このことは決定していることではありませんが、そういう気持ちの中で検討を開始させてもらいたい。もちろんいろんな思いがあると思います。大和は学園都市でありますし、そこから離れたくないという人も当然いると思います。それぞれ思うところはたくさんあると思いますがそこを超えていかなければならない時代になってきたんだと思っています。

そして、本庁舎と教育委員会との連携、これは今回の子育ての部分の移管など見てもわかるとおり、これから我々が立ち向かっていく課題の中で、これは教育だ、これは福祉だ、これは何課だ、ということも当然あるんですが、それを超えて横の連絡を取っていかなければならない。

たとえば、ごみ処分場の問題も廃棄物対策課だけの問題ではありません。それに付随して、福祉の施設だとか道路だとか、教育の問題もあるかも知れません。様々なことなるべくコンパクトに身近でいつでもパッと会える、そして指揮監督がきちんと行き届いている。これを一番の目標としてやらせてもらおうと、私のなかではすぐにでも進めていこうと思っておりますので、教育委員の皆さまからも、ぜひその方向性をご理解いただきたい。

先ほどの生涯学習センターの問題、これも大変な問題です。これについては何の場所にするんだということも、学びの郷南魚沼プランと同時に協議を開始させてもらいたいと思っておりますので、これからご意見をいただく中で、いい形を目指して進めてまいりたいと考えております。今日は協議という形ではありませんが、ご理解をいただきたいと思います。

ほかに皆さんから何かありますか。

特になければ、これで閉会ということにさせていただきます。事務局の方から何か連絡はありますか。

事務局

市長部局、教育委員会ともありません。

市長

それでは以上を持ちまして、平成 29 年度第 1 回の総合教育会議を閉会させていただきます。大変ありがとうございました。